

工事進捗状況図 操作手順書

2026年7月

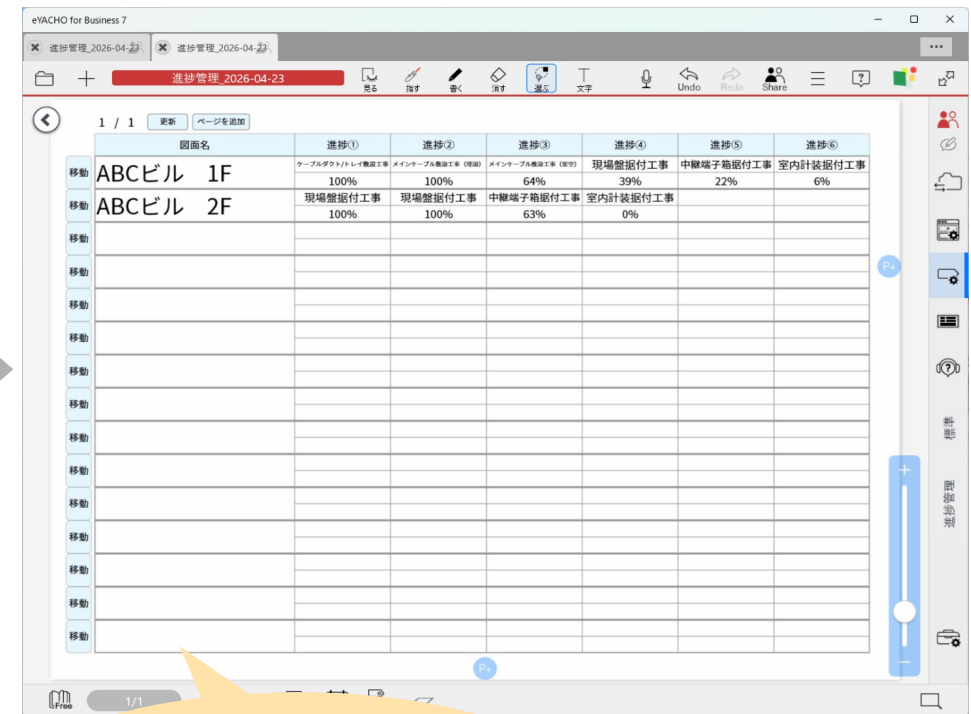
株式会社MetaMoJi



工事進捗状況図操作手順書

1. 概要
2. 操作手順
 - 1) 工事進捗状況図を設定
 - 2) 進捗一覧を表示
3. 業務メニューについて

工事進捗状況図を活用することで、工区・作業単位の進捗状況が見える化し、効率的に管理できます。
工区毎の進捗状況や、一覧表により現場全体の進捗状況を把握できます。

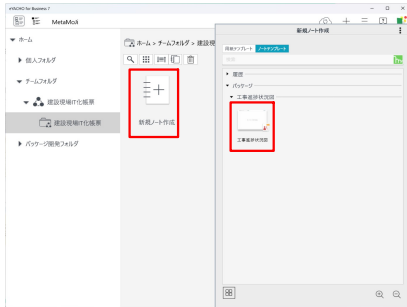


工区毎の進捗状況は
ページ内で確認可能

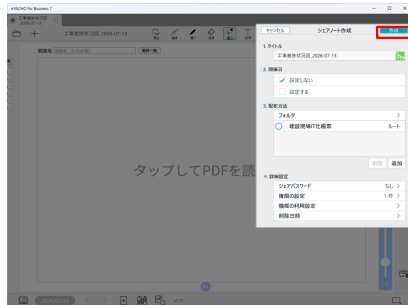
現場全体の進捗状況
を一覧表示

2. 操作手順

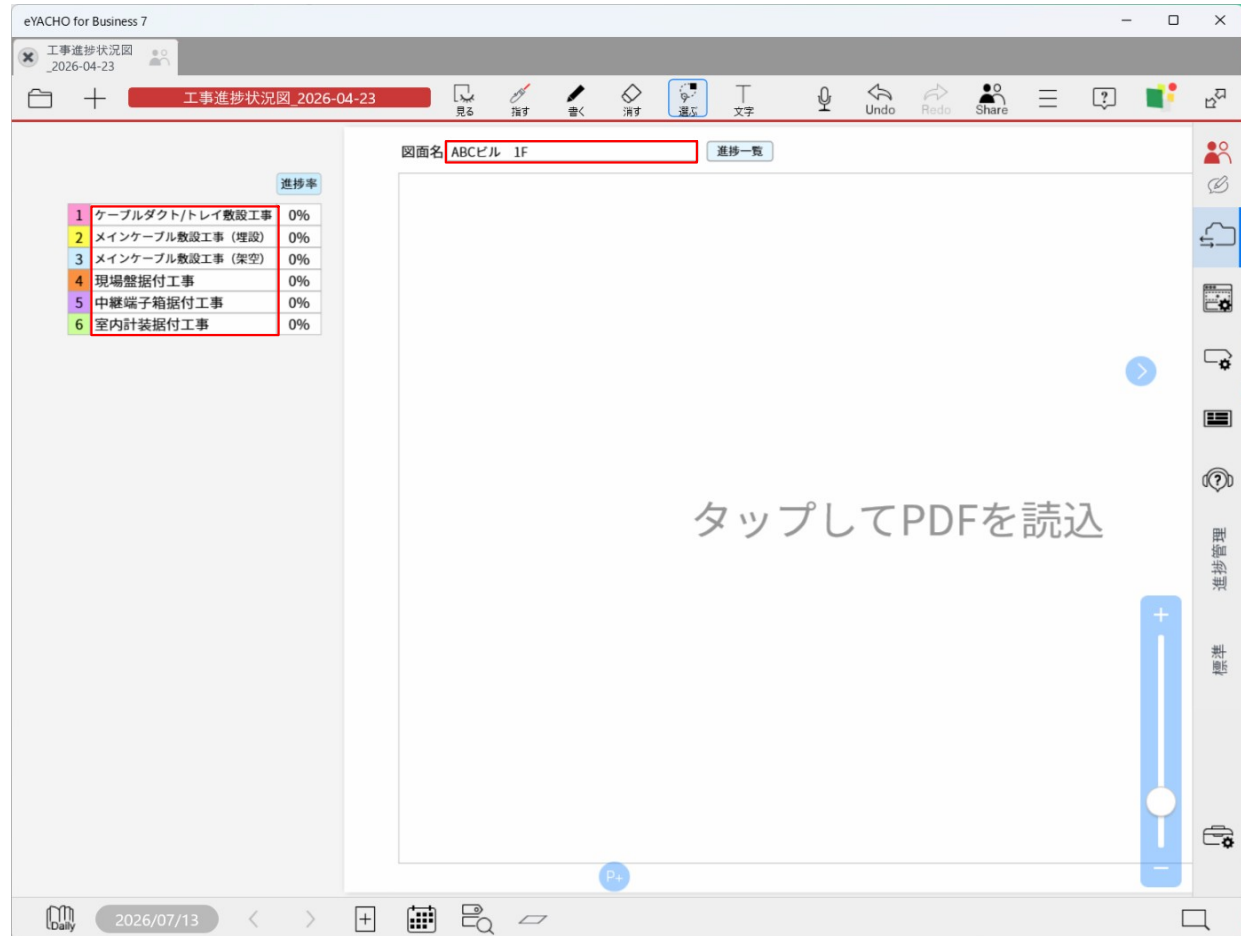
1) 工事進捗状況図を設定



①新規ノート作成で、ノートテンプレート「工事進捗状況図」を選択します。



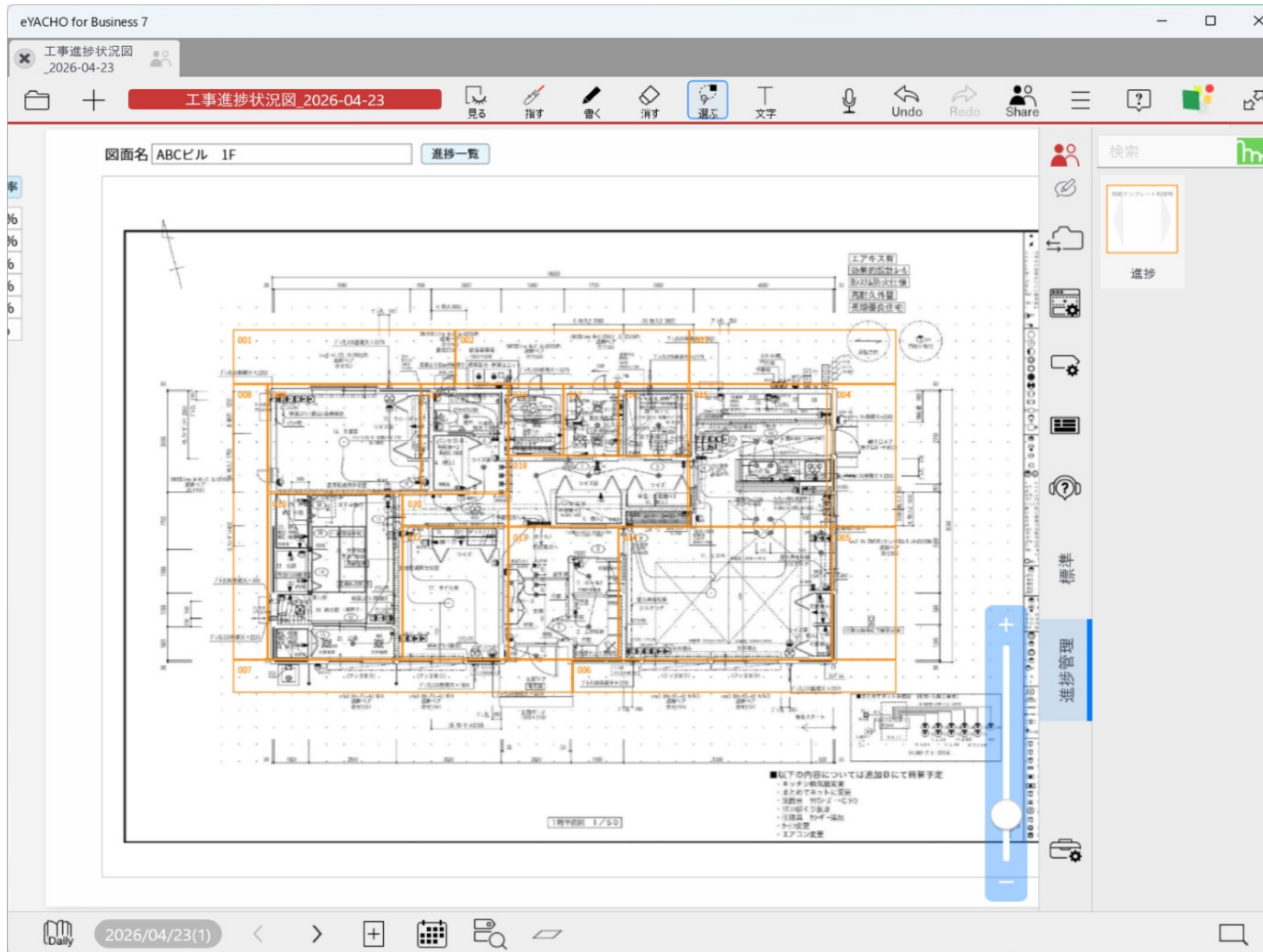
②シェアノートとして作成します。



③図面名と進捗区分を設定します。

2. 操作手順

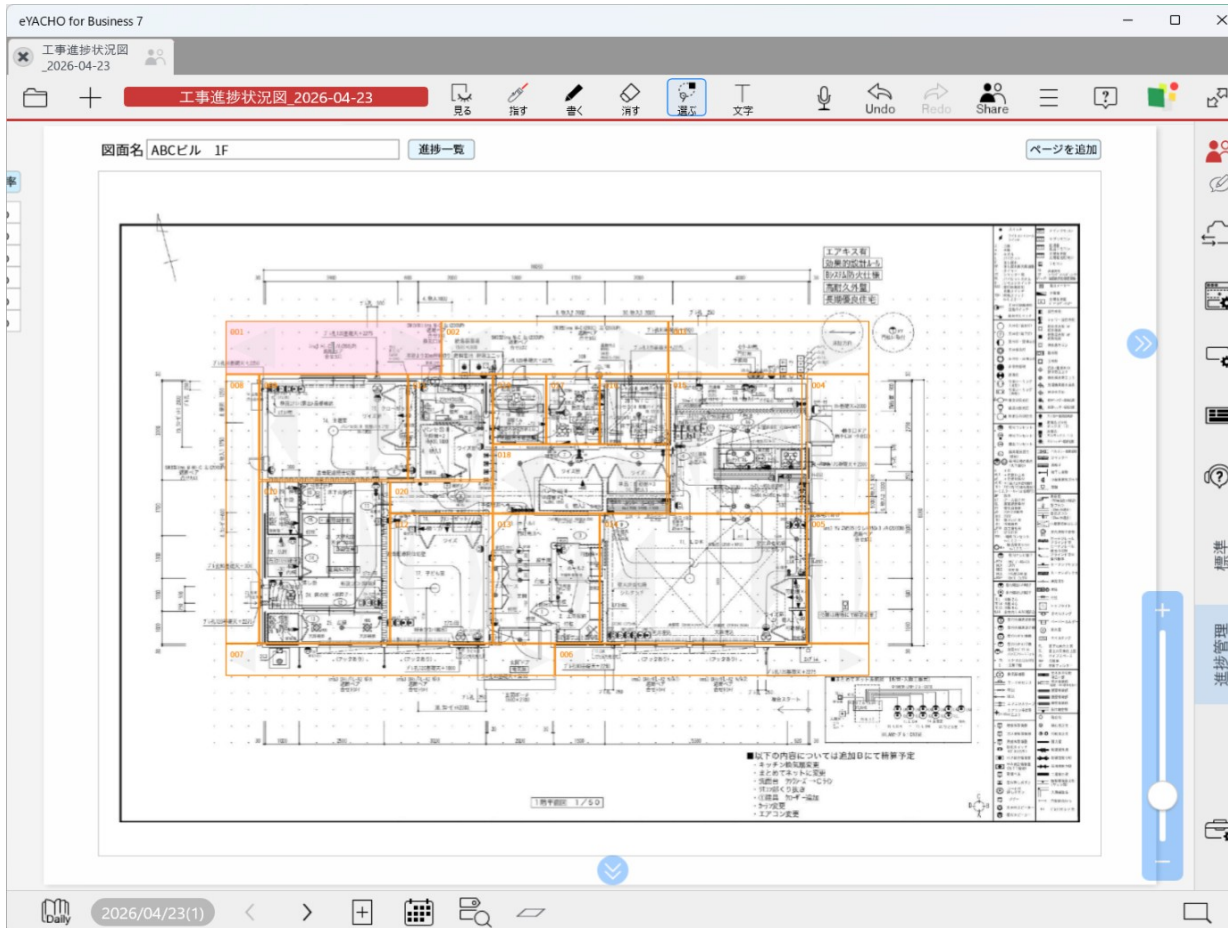
1) 工事進捗状況図を設定



④図面を読み込み、図面上に進捗管理ツールボックスからアイテムを追加し、大きさや位置を変えて配置していきます。

2. 操作手順

1) 工事進捗状況図を設定



⑤進捗があった箇所の区分を変更していきます。

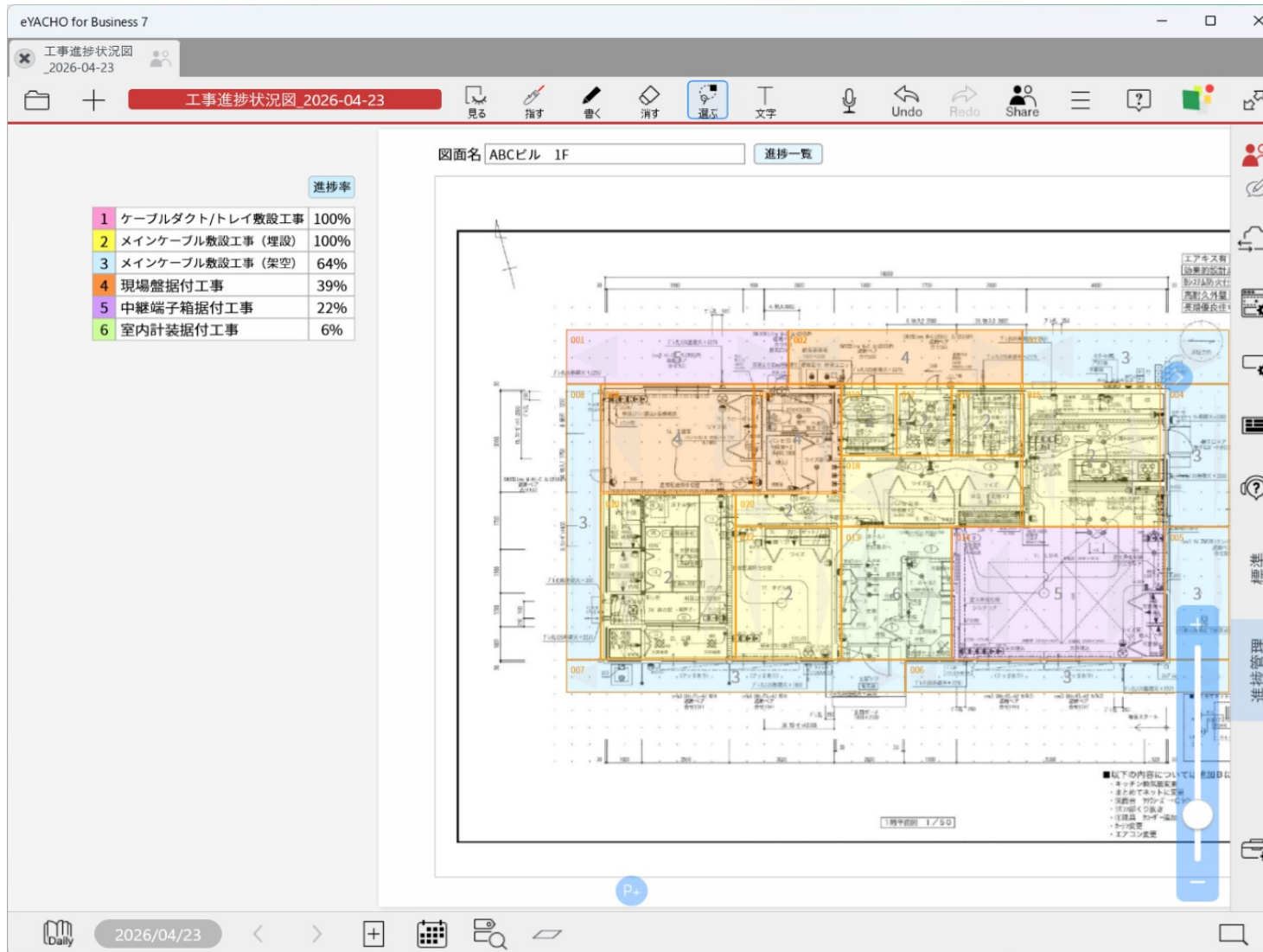
◀▶ をタップして
◀ 区分を下げる
▶ 区分を上げる

進捗に応じて進捗
区分の色が変わる

021		021
	➡	1
1	ケーブルダクト/トレイ敷設工事	0%
2	メインケーブル敷設工事（埋設）	0%
3	メインケーブル敷設工事（架空）	0%
4	現場盤据付工事	0%
5	中継端子箱据付工事	0%
6	室内計装据付工事	0%

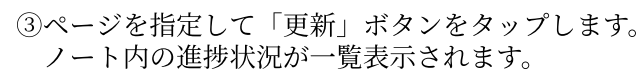
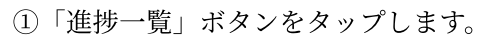
2. 操作手順

1) 工事進捗状況図を設定



⑥進捗率ボタンをタップすると、進捗率が計算されます。
※進捗が次の段階へ進むと、前段階は100%完了として扱います。

2) 進捗一覧を表示



3. 業務メニューについて

業務メニューとは

業務に必要な帳票（ノート）を、探さずに直接作成できる業務手順書です。
現場に即したお客様独自の業務メニューを構築することで、業務の効率化と標準化を実現できます。

メリット

- ▶ 必要なテンプレートだけを最適な形で配置できます。
- ▶ ノートの利用場所を統一し、作業標準化を実現します。
- ▶ 手順を見ながらシームレスに業務を進めることができます。

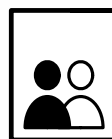
3つのアプローチ

①チームメニュー型



チーム・フォルダごとに業務を進める

②ノート型



チーム・フォルダを問わず業務を進める

③Webサイト型



アプリ外部を起点に業務を進める



次頁に本パッケージの業務手順書（背景画像）を用意しています。
ボタン等を配置し、ノート型・Webサイト型での業務メニュー構築にご活用ください。
業務メニューの構築方法については業務メニュー構築ガイドをご確認ください。

<https://product.metamoji.com/gemba/eyacho/document/package/gyomumenu.pdf>

工事進捗状況図業務手順書

※指定フォルダへの新規ノート作成を当手順書からおこなえます。

進捗管理

工事進捗状況図の作成

